

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学において地域の健康診断等にて得られたデータの利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2014年 2月

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 安村誠司

■ 研究課題名

福島県「県民健康調査」健康診査結果の震災前後の経年変化に関する研究

■ 研究期間

2014年(平成26年)2月 ~ 2030年3月

■ 研究の目的・意義

目的

本研究では東日本大震災及びその後の放射線事故による避難が健診結果に及ぼす影響について、福島県内の自治体を対象として震災前後及び震災後の健診結果を解析することにより明らかにすることを目的としています。

意義

本研究において、東日本大震災後の放射線事故による避難の健診結果への影響を長期的に検討します。その際、避難区域住民の方のみならず放射線事故の影響が少ないと考えられる会津地方の方と比較することにより、避難区域の健康問題をより明らかにできると考えます。また日本では、40歳以上を対象とした毎年の健診が実施されていることから、震災前の健診のデータを有効活用することにより、震災及び避難の影響をより明らかにできると考えます。このような解析は海外の災害では実施が困難であり、本研究において震災及び避難の影響を高い精度で解析が行えることは、結果を住民の方々に還元する際に有効に活用できることに加え、学術的にも世界に類のない研究として貢献できると考えています。

■ 研究対象となる方

本研究の対象は、2008年度以降に下記の福島県内の自治体において特定健診もしくは後期高齢者健診を受診された方です。

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、伊達市、喜多方市、南会津町、只見町

■ 研究の方法

- ・本研究にて使用する皆さんの情報は、健診で得られた身長、体重、腹囲、血圧、血液検査項目、尿検査、心電図検査、既往歴、自覚的症状、喫煙、飲酒、運動習慣、食習慣等の生活習慣に関係する項目等の情報です。
- ・これまでに皆さんが健診に参加した際に収集した上記のデータを使用させていただき、震災前後及び震災後の推移を地域別に検討することにより、震災及び避難等が循環器疾患危険因子及び生活習慣にどのように影響したかを検討します。
- ・データからは、皆さんの住所、氏名当の個人情報除かれており、それらを扱うことはありません。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2014年2月1日

■ 研究組織

研究責任者 公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 安村誠司

本研究の研究事務局は福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターであり、研究責任者は福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター安村誠司です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長竹之下誠一です。

■ 研究資金及び利益相反

本研究は放射線医学県民健康管理センター研究費を用いて実施します。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

作成日: 2024年 6月 30日(第4版)

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 担当: 大平 哲也

電話:024-547-1738 FAX: 024-547-1244

